Topics
患者支援センターの紹介
vol.35
2017.6
June

contents
・院長着任の挨拶
・地域連携研修会の報告

山梨県立中央病院
医療連携だより

NEW

院長着任の挨拶

高度専門医療と急性期医療を使命とし、地域医療機関との連携強化を目指します

山梨県立中央病院
院長
神宮寺禎巳

平素より、医療連携につきましてご理解とご協力をいただきまして、誠にありがとうございます。

当院は、明治9年開院以来140年にわたり山梨県の基幹病院として県民の皆様の医療を担ってまいりました。医療のめざましい進歩とそれにともなう県民のニーズに応えるため、平成17年に新病院が完成し、さらに平成22年に地方独立行政法人に移行しました。

新病院建設を機に、救命救急センター、総合周産期母子医療センター、がんセンター機能を整備してまいりました。救急医療においては、ドクターカー導入に続き、平成24年4月からドクターヘリの運航を開始し、救急医療の初動体制を確立しました。周産期母子医療においては、平成19年には、新生児死亡率が全国で最も低い県となり妊産婦死亡率の低下とともに成果をあげております。平成18年に都道府県がん拠点病院に指定されて以来、通院加療がんセンター、ゲノム解析センター、がん支援センター、そして平成29年5月には、公立病院としては全国的にも稀なゲノム診療センターを開設する運びとなりました。

また、平成27年度には総合診療科・感染症科、平成28年度には肺がん・呼吸器病センター、平成29年度には、循環器病センター、肝胆膵・消化器病センターを開設いたしました。

地域医療における当院の使命は、高度専門医療と急性期医療の役割を果たすことと心得ております。地域のかかりつけ医の先生方と連携し、緊急性・専門性を要する急性期治療は同病院、通常の診療はかかりつけ医、とする医療の分業化を進めてまいりました。お陰様で、平成28年7月には、連携の実績が認められ、地域医療支援病院の承認を得ることができました。今後尚一層役割分担を意識し、地域医療機関との連携を深めていきたいと考えておりますので、皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。

地方独立行政法人山梨県立病院機構
山梨県立中央病院
YAMANASHI PREFECTURAL CENTRAL HOSPITAL
地域連携センター
〒400-8506　山梨県甲府市富士見1-1-1
TEL.055-253-7111／FAX.（直通）055-253-2903

Topics
患者支援センターの紹介

退院後も安心して生活できるように

患者支援センター誕生！

Patient support center

患者支援センター

総患者支援センター
統括部長

井上　正晴

平素より、当院との医療連携にご理解とご協力をいただきありがとうございます。これまで多くの先生方に連携登録医として患者さんのご紹介や、当院主催の地域連携研修会の参加など誠に感謝しております。昨年には、地域医療機関との連携の実績が認められ、地域医療支援病院の承認を受けることができました。本年度はこれまで以上にスムーズな連携の推進を考えておりました。

さて、この度これまでの「地域連携センター」に「入退院センター」が加わり、名称を「患者支援センター」に変更いたしました。平成16年一人の看護師長で医療連携科がはじまりましたが、現在の「患者支援センター」は、併任・非常勤をあわせると23人の職員となりました。

今後も皆様の信頼とご期待に応えられるよう、先頭にたって取り組んでまいりますので、ご支援をよろしくお願いいたします。

前列
左側から

医療連携・福祉支援科部長	患者支援センター統括副部長	患者支援センター統括部長	患者支援センターセンター長	入退院センターセンター長
根本　篤	渡辺　剛	井上　正晴	内藤　仁美	矢野　利明

CHECK 1

入退院センター

入退院センターは、患者さんに対して入院の説明や申込みなどを一元的に行うことを目的として、平成28年8月1日より開設されました。

平成29年度には看護師4人体制となり、現在は主に内科・外科の入院申し込みをされた患者さんやご家族に対し、入院の説明を行っております。説明を行う際は、プライバシーに配慮し個室で面談を行っております。そして、医療連携・福祉支援科と連携し、患者さんが安心して入院生活が送れるように努めております。また、退院後も患者さんやご家族が安心して地域に戻り生活できるように、入院前から状況を伺い入院病棟につなげ、継続的な医療・看護の提供を目指しています。その他にも病院薬剤師による内服薬の確認など、患者さんが安全に治療を受けられるように取り組んでおります。

入退院センターは開設して間もない部署です。様々な方からのご意見やご指導をいただき、患者さんやご家族のご期待に応えられるよう努力してまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

CHECK 2

医療連携・福祉支援科

当科では様々な問題に直面する患者さんに、福祉制度の紹介や、地域の医療機関・訪問看護ステーション等と連携してサポート体制をつくり、より安心して退院後の生活を送れるよう支援を行う部門です。また地域の様々な医療機関と顔の見える関係を日ごろからはかることも重要な役割です。昨年は14回の地域連携研修会を開催し、地域の医療機関の皆様と一緒に勉強することができました。

他にもがん、糖尿病、腎疾患など難しい病気を患う患者さん達への保健指導や様々な問題を抱えるご高齢の方々から小さな子ども達までが安心して生活できるように支援を行っています。また医療通訳の手配や精神疾患を患う患者さんへの支援、さまざまな問題が絡み合う妊婦さんへの支援など多岐にわたる相談・支援業務も院内の各部門のスタッフと協力して行っています。

急性期治療を乗り越えた患者さんが一日も早く地域に戻れるよう、病と向き合う患者さんやそのご家族の力になれるよう、医師、看護師、保健師、ソーシャルワーカー、事務員など多職種のチームで取り組んでいます。今後ともご指導の程よろしくお願いいたします。

2017
地域連携 研修会
H29年度

地域連携研修会が開催されました

2.3 FRI

サイエンス漢方処方セミナー『がんと漢方』

平成29年2月3日、当院多目的ホールにて、地域連携研修会を開催しました。

静仁会静内病院院長の井齋偉矢先生にお越しいただき、サイエンス漢方処方概論、新薬と漢方薬の違い、がんと漢方、漢方治療（口腔粘膜炎・下痢・末梢神経障害・血小板減少・食欲不振）、免疫能を改善させる漢方薬などの効果や処方についてご講演いただきました。院外からは、49名の医師、看護師などの多くの方々に参加いただき、院内からは、34名の職員が参加致しました。

ご参加いただいた方々から非常に良かったとご好評いただき有意義な研修会となりました。

3.28 TUE

「山梨県における地域連携と医療の充実」

平成29年3月28日（木）、当院多目的ホールにおいて、地域連携研修会を開催しました。当院前院長で婦人科医の寺本勝寛医師が、「山梨県における地域連携と医療の充実」について講演いたしました。

院外より26名の医師、看護師、相談員等が、院内からは128名の職員が出席しました。

山梨県立中央病院が今年5月に開設140年を迎え、これまでの病院の歴史と平成13年度からの周産期センター開設における、山梨県の周産期死亡率の功績について報告がありました。

また、昨年の7月より地域医療支援病院としての承認を受け、地域の医療機関と連携を密に多く患者さんの診療に携わることができて感謝の言葉を伝えていました。

今年度も、院内・院外に向けた連携のための研修会を定期的に開催いたします。その都度ご案内させていただきますので、是非ご参加ください。

次回研修会

日時：H29年 6月29日（木）／19：30～20：30

場所：山梨県立中央病院 2F 多目的ホール
甲府市富士見1-1-1　055-253-7111

題名：『 さまざまなＣＫＤ（慢性腎臓病）』

講師：山梨県立中央病院 腎臓内科
部長　温井　郁夫 医師

研修会の情報はホームページでもご案内しています。併せてご覧下さい。
http://www.ych.pref.yamanashi.jp/

紹介状のある初診患者さんは、患者さんご自身による電話予約や、かかりつけ医によるFAX予約ができます。

当院では、日頃よりかかりつけ医を持っていただくことをお勧めしています。
体調に変化があったときはかかりつけ医に相談の上、紹介状（診療情報提供書）を持って受診してください。
紹介状のある初診患者さんは、初診の予約ができます。予約をすることで初診はさらにスムーズになります。

電話予約の流れ

1 かかりつけの医院を受診
紹介状をもらってください

2 専用ダイヤルにお電話
以下にお電話ください
☎055-253-7900
9:00～17:00　月～金（祝祭日除く）
①紹介状②電話診療予約申込書
③当院の診察券（お持ちの方は）
お電話前に準備してください

3 受診当日
ご予約30分前に総合案内にお越しください
お持ちいただく物
①紹介状　②電話診療予約申込書
③保険証　④当院の診察券
⑤受給者証（老人医療、公費等該当する方）